



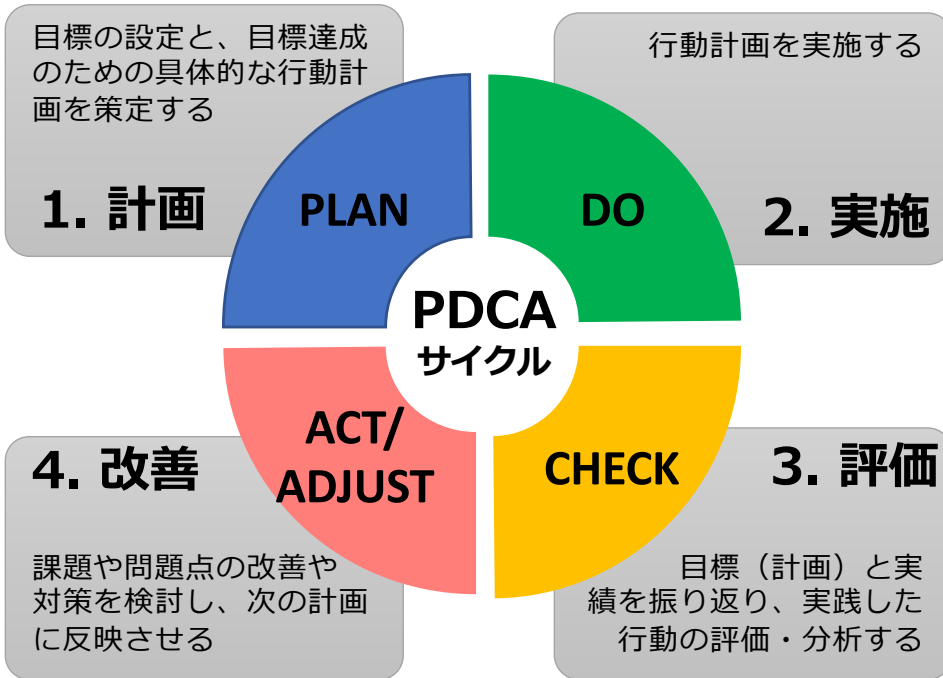
Newsletter 第5号



本プロジェクトは、モンセラード州保健局（Montserrado County Health Team : MCHT）の監理能力の強化、ミニプロジェクトを通じたPDCA管理能力の向上、5S-KAIZEN-TQMを用いた州・郡保健局と州内の保健医療施設の組織マネジメント強化、グッドプラクティスの共有等を通して、MCHTのマネジメント能力の向上の実現と保健サービスの改善を目指します。

ミニプロジェクトを通じたPDCAマネジメントの強化とは？

本プロジェクトでは、プロポーザルベースの少額のプロジェクト（ミニプロジェクト）を通じ、PDCAサイクル（計画・実施・モニタリング・評価など）を活用したマネジメント能力の強化を目指しています。



2024年9月までに約30件のミニプロジェクトを採択・実践します。

ミニプロジェクトは1件あたり2000～5000米ドルの予算・期間は3～5ヶ月で想定しています。

応募者は、MCHT、DHTのスタッフで、分野毎の年間活動計画の達成状況、実現可能性、費用対効果を考慮して、プロポーザルの作成と活動の実践を目指します。活動中は定期的に進捗状況をモニタリング・評価して、課題や問題を明確にし、次の計画に反映させることで、プロジェクトの管理能力の強化を目指します。

ミニプロジェクトワーキンググループの始動

ミニプロジェクトの実施にあたり、州保健局長を含むMCHTスタッフ7名、Careysburg郡保健局1名の合計8名によるワーキンググループを設置しました。本グループは、プロポーザルの受付・審査・選出、ならびに各プロジェクトの実施状況のモニタリングや助言などを担います。

第1回ワーキンググループ会議では、日本人専門家からミニプロジェクトの概要、応募条件、見積作成方法について説明し、進め方について協議しました。また、プロポーザル作成に先立ってワークショップを開催し、2022年の年間活動計画の実施状況を評価して各部署で優先度の高い課題を明確にすることを提案しました。併せて、プロポーザル選出の優先項目として、①案件が母子保健に関連する場合、提案書にて説明すること、②5Sに積極的に取り組んでいるグループは、マネジメント改善に受けた意欲が高いと判断し、加点することを提案し、合意を得ました。

日頃、MCHTのスタッフは慢性的な予算不足により計画した多くの活動を実践できていないため、ワーキンググループのメンバーもミニプロジェクトに高い関心を示されていました。

年間活動計画評価・立案ワークショップの開催

2022年11月下旬から12月上旬の5日間にわたり、MCHTの全部局を対象としてワークショップを開催しました。本ワークショップでは、2022年の活動の実績を評価し、2023年の優先活動を選定して、ミニプロジェクトの候補の活動として計画を策定することを想定して実施しました。

2022年9月に開催したワークショップで母子保健分野の年間活動計画と各活動の達成状況を確認したところ、①各活動の進捗が定期的に確認されていないこと、②計画の中には、何年も実施されていない活動や実現可能性の低い活動が含まれていることが明らかになりました。そこで、今回のワークショップでは、各分野の関係者がじっくり協議し、日本人専門家からも十分なインプットができるよう、少人数のグループワークを計画しました。

MCHTと郡保健局のスタッフを分野毎に18のグループに分け、各部署の“あるべき状況”と“現状”を比較し、あるべき状況を実現する上で何が障壁となっているのか、課題を解決するために何ができるのかを議論しました。参加者から挙げられる課題は「予算が足りない」「資源が足りない」「活動を支援してくれるドナーがない」という意見が大半でしたが、日本人専門家が支援しながら、現状、問題、対策を整理しました。結果として、計画そのものの必要性や実現可能性などについても深く議論する良い機会となったようでした。また、参加者からは、「各部署の“あるべき状況”をグループ毎にディスカッションすることで、ミニプロジェクトの内容についても具体的なイメージが湧いてきた」といったコメントがありました。



年間活動計画の振り返り

年間活動計画をはじめて見たという方もいました。

“あるべき状況”と“現状”の比較

州や郡の保健水準の向上のために本来あるべき状況と、現状を比較して、できていないことや問題点をリストアップしました。



ミニプロジェクト計画案の策定

実際の応募書類を用いて、ミニプロジェクトの計画案を立案しました。なるべく細かく活動計画を練り、実施のために必要な資材・予算についても議論しました。

